

令和5年度 小川北義務教育学校グランドデザイン

校 言川

力をつけよう 心をみがこう 気力をもとう

学校教育目標

温かい心で人と関わり、未来を切り拓く
たくましい児童生徒の育成

学校経営の方針

児童生徒一人一人を大切にする 魅力ある学校づくり

組織目標

児童生徒がいきいきと学び 一人一人のよさを伸ばす元気な学校
～4つの合い 「学び合い」「認め合い」「支え合い」「高め合い」～

目指す学校像

- 児童生徒が主体的に楽しく学ぶ学校
- 地域から信頼される魅力ある学校
- 教師がやりがいを感じる学校

目指す児童生徒像

- 夢や目標をもって、自ら学び続ける児童生徒
- 思いやりがあり、互いのよさを認め合う児童生徒
- 活力があり、心も体もたくましい児童生徒

目指す教師像

- 児童生徒とともにあらん人間性豊かな教師
- 教育への情熱と使命感をもつ教師
- 信頼され、時代の要請に応える教師

9年間を見通した学びの継続・特色ある教育

*教科担任制と学び合いを核とした学習指導

- ・教職員の交流による一貫教育の推進
- ・さまざまな場面での効果的なICTの活用

*体験を重視した創意ある教育活動の推進

- ・児童生徒の思いを生かした地域貢献活動
- ・異学年交流を生かした教育活動の充実

*学校運営協議会と一体となった学校づくり

- ・地域と連携した人的・物的資源の積極的活用
- ・地域と連携した安全体制の構築

前期
(1~4年)

夢をもつ
交友を広げ
助け合える児童
自己認識期

夢や目標をもって、自ら学び続ける児童生徒
*主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

思いやりがあり互いのよさを認め合う児童生徒
*思いやりの心をもち、互いのよさを認め合える学級・学年集団づくり

活力があり、心も体もたくましい児童生徒
*健康で安全な生活を送るための生活習慣・運動習慣づくり

中期
(5~7年)

希望を掲げる
よい生き方を考える児童生徒
自己育成期

<重点施策>
○教科担任制の活用
・前期課程からの段階的教科担任制の導入
・専門性を生かした魅力ある授業の展開

<重点施策>
○基本的生活習慣の定着と規範意識の向上
・いじめの未然防止と早期発見・早期対応
・家庭との連携

<重点施策>
○体力向上に向けた取組(握力、投力)
・体力アップ月間の設定
・体育の授業での補強運動の継続
・縦割り班での体力アップメニューの工夫

後期
(8~9年)

大志を抱く
未来を見据え、
自己確立を目指す生徒
自己確立期

○学び合いを取り入れた協働学習の実践
・学習意欲を喚起する課題設定の工夫
・自分の考えや思いを交流する場の設定
・「見通し」をもち「振り返り」のある授業づくり
・1時間1工夫の授業づくり

○自己肯定感、自己有用感の育成を図る特別活動の展開
・創意ある表現活動
・主体的な児童生徒会活動
・前期課程修了式の実施
・発達段階に応じた地域貢献活動

○系統的な健康教育の実践
・発達段階に応じた歯磨き指導
・がん教育・薬物乱用防止教室の実施
・性教育・生きる教育講演会の実施
・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣の確立
・栄養教諭と連携した食育指導
・感染症予防の新生活様式の実践

< 数値目標 知 >

- 「授業が分かる」80%
- 「授業が楽しい」90%
- 「自分の考えを伝えている」70%
- 「自学や宿題を自分から行っている」80%

< 数値目標 徳 >

- 「あいさつができる」90%
- 「学校が楽しい」90%
- 「自分によいところがある」80%
- 読書達成率(前期課程50冊、後期課程20冊)80%

< 数値目標 体 >

- 体力テストA+Bの割合45%以上
C+Dの割合20%以下
- 「健康や安全に気を付けている」90%
- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣90%

【特別支援教育の充実】

- ユニバーサルデザインを基盤とした授業づくり
- 特別支援教育を中心とした支援の充実
- 個別の指導計画と評価の工夫
- 保護者、関係機関との連携

【開かれた学校づくりの推進】

- 学校だより、HPを活用した積極的な情報発信
- 学校運営協議会、市民の会小川北支部との連携
- 保幼小接続カリキュラムの充実
- 学校評価の実施・公表・積極的な活用

【教職員の資質・能力の向上】

- 校内研修の充実とOJT研修の推進
- 外部機関との連携(訪問指導の活用)
- 学校運営への積極的な参画
- 教員評価、人事評価の効果的な活用

【服務規律の確保と学校事故の未然防止】

- 危機管理マニュアルの見直しと多様な避難訓練の実施
- 教職員の危機管理意識の高揚と事例研修会の充実
- ボトムアップ型コンプライアンス研修による服務規律の徹底

【働き方改革に向けて】

- 働くことが楽しく、子どもと向き合う時間を大切にできる職場づくり
- ライフワークバランスを大切にした働き方改革の推進
- ～超過時間勤務 月45時間以内、週1日の個人による定時退勤日～

